

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（店 長）	それ以外	・申請していたたばこの免許が下りたことで、客単価 や来店頻度が上がり、良い傾向になっている。	
		一般小売店〔家 電〕（経営者）	お客様の様子	・地上デジタル放送が始まり、少しずつではあるがテ レビ等の動きが出てきている。暖房器具等も修理よりは 安価な物への買い換えがみられる。	
	やや良く なっている	百貨店（売場主 任）	販売量の動き	・8月の早い段階から、ウォームビズの展開を始め て、9月後半から非常に多くの客が来店している。新 しいスタイル、提案を行なうことにより、動きが良く なっている。	
		スーパー（販売 促進担当）	販売量の動き	・3か月前の売上と比較すると、4%ほど改善してい る。敬老の日ギフトでは特に衣料関連の伸びが良く、 全体で前年の120%となったことが大きい。	
		スーパー（統 括）	販売量の動き	・急激な朝晩の気温の低下により、秋物衣料が好調に 推移している。敬老の日ギフトは、裏フリースやマ ジックテープベスト、機能パジャマ、調温調湿素材等 を中心に前年比140%の伸びとなっている。トラベル 関連商品は国内用、海外用共に125%、食品は季節限 定のビールやプレミアム系ビールが130%と増加、お でんは120%、中華まん140%と秋物商材の動きが好調 である。	
		衣料品専門店 （店長）	販売量の動き	・今年は残暑もあまり続かず、秋めいた天候の日が多 かったため、特に20日以降は秋物の動きが好調で、販 売量、来客数共に前年比15%の増加となっている。	
		都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・早めの予約で忘年会など希望の日を押さえているだ けかもしれないが、宴会需要に復調の兆しがみられ る。	
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・例年の9月に比べ、今年は契約が増えており、量販 店の数も増加している。デジタル関連機器の総購買量 は上向きであり、当社のケーブルテレビ、インター ネットサービスへの客の認識度も上がってきている。	
		住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・金利上昇とともに需要が徐々に増えてきているよう であるが、売る方の地主の意識はまだ地価の低下に追 いついていないため、売却が少ない。需要供給バランス での増加である。	
	変わらない		百貨店（総務担 当）	来客数の動き	・このところ来客数が減少しており、チラシの目玉商 品も売行き不振である。
			百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・客は気に入った物は高いお金を出しても買うが、そ うでない物にはあまり興味を示さない。
			スーパー（総務 担当）	販売量の動き	・9月は天候不順ということもあり、衣料品関係があ まり良くなく、店全体でみても非常に厳しい月となっ ている。
			スーパー（統 括）	来客数の動き	・来客数は前年比105～106%での推移が続いている。 チェーン全店で来客数が前年を下回るのは、競合店出 店の1店舗のみであり、他はすべて今月も前年をクリ アしそうである。
			コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・今年に入ってからずっと来客数、売上共に前年比で 10%近く減少している。
乗用車販売店 （経営者）			お客様の様子	・車の修理等は堅調である。相変わらず財布のひもは 固く、車の乗り換えまでにはいかない。中古車を求め る客も希望車種商談というより金額的商談色が強く、 金額に応じ車種を決めるパターンが出てきている。	
乗用車販売店 （従業員）			販売量の動き	・新型車が発売になったものの、販売台数は前年並み で、販売車種も安価な車種に片寄っている。	
高級レストラン （店長）			販売量の動き	・売上自体はほぼ前年と同水準であるが、回復の兆し がみえない。この状況はしばらく変わらない。	
観光型ホテル （経営者）			来客数の動き	・9月を飛び越えて、10、11月に集中して予約数が伸 びている。	
都市型ホテル （スタッフ）			単価の動き	・宿泊単価は6～7千円くらいのところを行ったり来 たりしており、8千円は取れない状況である。大企業 の出張者に対する経費は厳しいようである。	
	旅行代理店（支 店長）	お客様の様子	・今月は7、8月の反動もあってか、カウンターの来 客数が少なく、売上も厳しい状況である。また、法人 団体向けの販売についても、11、12月の動きが鈍い。		

	タクシー運転手	お客様の様子	・昼間の通院等の需要は相変わらず良好だが、脱穀等の農繁期を迎えているせいか夜間の需要が伸びていない。
	タクシー運転手	販売量の動き	・今月は連休も多く、体育祭等各行事のため、祭日に結構人が出ている。平日は雨が多かったので、営業関係の出足が鈍っている。
	遊園地（職員）	来客数の動き	・新規アトラクションのオープンにより堅調に推移したものの、台風等の天候不順があり、周辺の観光施設も含めて景気が良くなったとはいえない。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・台風の直撃もなく、天候に恵まれ、来客数は増加しているが、全体的な底上げにはなっていない。
	設計事務所（所長）	競争相手の様子	・相変わらずの状況が続いている。もう限度と思っていながら、何とかつないでこれではいるが、安い下請仕事もあるだけ良しとして、頑張っているのが実情である。同業者に話しても「やる仕事があるだけ良いではないか」と言われるほどである。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・商品の質よりも価格優先で選択する客が多い。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・旬の果物の電話注文等は例年を上回っているが、来客数の動きが悪い。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・来客数は増えてきているが、単価は下がっている。また、最近は特にカードでの買物が目立っており、客は買物とカードのポイント、ダブルの魅力が良いが、店には痛手である。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・衣料品の動きが悪い。特に婦人服の売上が非常に悪くなっている。
	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・今月に入り20日までは残暑が厳しく湿気もあったので、秋物の立ち上がりが悪く、来客数もかなり減少していた。20日以降は若干気温が上がったので、いくらか動き出しているが、全体としてはかなり低調である。
	家電量販店（営業担当）	単価の動き	・運動会シーズンでデジタルムービーの単価が低下している。また、デジタルカメラへ変更することでも単価が下がっている。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・今まで新聞、チラシ等に展示会の広告を出せば、必ず販売台数が伸びていたが、先月、今月は伸び悩んでいる。周辺のホテル関係もあまり良くななく、近隣の大型スーパーが撤退するという噂もあり、町全体が少し沈んでいる。
	その他専門店 〔携帯電話〕 （営業担当）	販売量の動き	・番号ポータビリティ開始直前にきたが、今のところ販売の動向に影響するような動きはない。世の中の動きをつがっているようである。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・例年に比べ7、8月の客入りが良かったので、このまま9月もと期待していたが、やはり金利、ガソリン価格高騰等の家計に及ぼす影響のせいなのか、売上が低下している。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・フリー客がかなり減っている。飲酒運転の件もあるかも知れないが、それだけでない感じを受けている。宴会も低調で、新規の客がほとんどなく、町全体の活気がなくなっているようである。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・夏季のトップシーズンが終わり、前月比で売上が落ちるのは当然のことと分かっているが、あまりにも落ち込みが激しい。直前予約の動きが予想以上に悪く、次月以降の流れにも不安を抱いている。
	都市型ホテル（経営者）	お客様の様子	・一時は値段が高くなっても空きがあれば宿泊するという客が増えていたが、最近の傾向として、予約時に部屋の金額を言うと、高いと言って電話を切られることが多くなっている。販売傾向も低価格帯の部屋が売れ、2,000円ほど高い部屋は売れ残ってしまっている。
	ゴルフ場（副支配人）	単価の動き	・プレー代の低価格競争が予想以上に進んでいる。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・これまで結構順調にきていたが、9月になり情報が非常に少なくなってきた。
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・一日中客が来ないという日が何日もある。

		スナック（経営者）	来客数の動き	・京都の一等地に店があるにもかかわらず、夜の人通りがめっきり減っている。
企業動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ホームページ、ネット上での受注量が例年に比べて伸びている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体的に製造関係の受注が増加してきている。特に部品加工は多忙で、受注に生産が追いつかない状況が続いている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注単価は相変わらず底値で推移しているものの、9月末半期決算の企業が多く、駆け込み的要素もあることから、引き合い、受注量、販売量は増加傾向にある。
	変わらない	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・品物がだぶついているのか、主要製品の受注が極めて悪い。工場の人手も余り気味になってきている。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	取引先の様子	・下期の生産動向計画説明会では、各社とも好調維持、前年比10%程度の生産増を見込んでいる。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規の客先より受注があったが、既存の客先からの受注が減少している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格、販売量、受注量等はこの2～3か月良い方向で変わっていない。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・輸送量の確保は前年並みであるが、燃料の高騰と台風などによる中国等の海上コンテナの遅れにより、特に協力会社等の遠方帰りの車両確保が難しくなっている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・製造業は、自動車部品、半導体関連の受注が好調である。原油高の影響については、売上は減ってはいないものの収益に影響を及ぼしており、一部運送業などで10～20%程度の値上げをしている取引先がある。
不動産業（管理担当）		受注量や販売量の動き	・テナントの入居の移動がなく、賃貸収入は変わらない。高層階にあるホテルも8月下旬に大手全国チェーンのビジネスホテルが近隣にオープンし、大いに影響を受けると思われていたが、現状は微減程度で推移している。	
その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・落ち込んでいた地域の祭りや企業の感謝祭等のイベント受注は回復しているが、比較的好調であった商業、サービス業、不動産業からのスポットコマercialが先月に引き続き減少している。総体的な売上高は横ばいである。		
やや悪くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・暑さや寒さの変化が著しく、思うように売れない。いまだにスーパーは安い商材を選んでおり、おいしさという基準がみえない。高級商材を販売とうたいながら、安い物を買っており、これでは共倒れで利益が上がらない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今年の3月以降悪くなり始めて、8月はここ数年で一番悪い状況、現在もまだ悪い状況が続いている。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・7～9月は前年に比べ10%ほどマイナスとなっている。予定していた販促ツールなどの製作開始の遅れや再度見直しによるペンディングが目立つようになってきている。中間決算以降の広告宣伝予算の使い方が気になるところである。	
悪くなっている	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・9月の売上は前年比で約10%弱落ち込んでいる。10、11月も車の減産基調で落ち込む予定である。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・地方都市では公共事業削減の影響が大きい。当社も9月決算だが今期は大幅な赤字となる。人員削減等いろいろ実施したが、売上の減少をカバーできるものではない。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・このところ求人数が多くなっており、大手企業が忙しそうである。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・昨年の今頃からみると、求人の動きが活発になってきている。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人倍率が前年同月比0.37ポイント上昇している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・依然として派遣、請負求人の数は多いが、今月上旬から、中小零細企業での受注増加による求人、長年の欠員を解消するための求人が若干増加してきている。
変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人の動きは活発であるが、求職者数は落ち着いているのか意外と横ばいの低い状態である。
	人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・派遣要請の企業はあるが、登録のスタッフは少ない。
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・求人募集企業が増加しており、製造業の正社員も多くなっている。サービス業も依然パート募集が多いものの、正社員募集も増えてきている。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・一時期停滞していた事務職なども、秋採用に向け、求人が出始めてきている。
やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・18年8月の新規求人数は、前年同月比で1.2%減少している。わずかな減少ではあるものの、前年同月比で減少したのは、16か月ぶりである。
悪くなっている	-	-	-